



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社fonfun

上場取引所 東

コード番号 2323 URL <https://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長 (氏名) 八田 修三

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	136	7.1	1	18.5	1	5.1	1	6.7
2022年3月期第1四半期	147	4.2	2	75.3	1	80.1	1	84.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1百万円 (6.7%) 2022年3月期第1四半期 1百万円 (84.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.41	
2022年3月期第1四半期	0.38	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	918	554	60.3
2022年3月期	950	553	58.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 554百万円 2022年3月期 553百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	673	21.1	31	215.7	26	257.6	26		7.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	3,380,920 株	2022年3月期	3,380,920 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	45,231 株	2022年3月期	45,051 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	3,335,738 株	2022年3月期1Q	3,335,907 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、急速に進行した円安やウクライナ情勢の長期化などに伴う資源・エネルギー価格の上昇、依然として継続する半導体や各種部材不足の影響などにより、その先行きは不透明な状況となっております。

こうした市場環境のなか、当社グループを取り巻く環境に関しては、スマートフォンが市場の中心となり、業界再編が続いております。2022年3月末における携帯電話の契約数は2億341万件(前年同期比1.4%増 総務省発表資料による)であり、大幅な契約数増加が見込めないなか、総務省主導による政策の影響もあり、携帯電話端末の価格と通信料のバランスが変化してきています。主要通信キャリア以外の仮想移動体通信事業者(MVNO)の存在感も増し、一契約あたりの売上高(ARPU)は微減を続け、コンテンツビジネスにも影響を及ぼしております。主要携帯通信キャリアが主導してきたビジネスモデルは、今後も大きく変化していくことが予想されます。

また、連結子会社株式会社FunFusionにて提供していますSMSサービスにおいては、SMS配信サービスの認知度が向上し、SNSやスマートフォンアプリの利用時などの本人認証通知、公共料金・税金など督促の通知、飲食業界のノー・ショウ(飲食店における無断キャンセル)対策としての予約確認など企業と個人の間でのコミュニケーション手段として高い到達率と開封率というSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、SMS配信市場は急速な広がりをみせており、2024年の国内直収市場規模は配信数84億4,000万通と予想され(「ミックITレポート 2020年11月号」(ミック経済研究所))、2021年度から2024年度までの年平均成長率は46.1%増で、引き続き、安定高成長を続けると予想されております。

このような状況の中、当社グループは、「お客様の喜ぶことを皆と分かち合い、ともに喜ぶ」を経営理念として掲げ、お客様の生活をより豊かに便利にするツールを提供できるよう当社の既存事業の収益を維持しつつ、新たなサービスの企画・提供を実施してまいりました。

## 【当第1四半期連結累計期間の実績】

以上の方針のもと、当四半期累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、セグメントを従来の「リモートメール事業」「SMS事業」「ボイスメール事業」「メディア事業」「その他事業」から、「SMS事業」「リモートメール事業」「ボイスメール事業」「受託開発ソフトウェア事業」「その他事業」のセグメントに変更しております。

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
			前年同期比	前年同期比
売上高	147百万円	136百万円	△10百万円	△7.1%
営業利益	2百万円	1百万円	△0百万円	△18.5%
経常利益	1百万円	1百万円	0百万円	5.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1百万円	1百万円	0百万円	6.7%

売上高は、コロナ禍において制約されていた営業活動も、感染対策に努めながら再開してきてはいるものの、一部、継続して制約される状況もあり、前年同期比7.1%減収の136百万円となりました。営業利益は、売上高の減収と売上原価の増加もあり、前年同期比18.5%減収の1百万円となりました。また、経常利益は、借入金の増加により、支払利息の営業外費用が増加したものの、当第1四半期連結累計期間より持分法による投資利益が計上されたため、5.1%増益の1百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、6.7%増益の1百万円となりました。

当社グループの各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期		
SMS事業	57百万円	60百万円	2百万円	4.0%
リモートメール事業	50百万円	44百万円	△5百万円	△10.9%
ボイスメール事業	22百万円	21百万円	△0百万円	△5.5%
受託開発ソフトウェア事業	1百万円	3百万円	2百万円	132.9%
その他	15百万円	7百万円	△8百万円	△53.0%
合計	147百万円	136百万円	△10百万円	△7.1%

(セグメント別営業利益又は損失△)

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期		
SMS事業	17百万円	23百万円	5百万円	32.9%
リモートメール事業	21百万円	22百万円	1百万円	4.8%
ボイスメール事業	6百万円	5百万円	△0百万円	△10.7%
受託開発ソフトウェア事業	△1百万円	△1百万円	△0百万円	—
その他	△0百万円	△0百万円	△0百万円	—
調整額	41百万円	48百万円	6百万円	15.7%
合計	2百万円	1百万円	△1百万円	△18.5%

※調整額とは、セグメント間取引消去額および全社費用(セグメントに帰属しない一般管理等)をいいます。

#### ① SMS事業

SMS事業はショートメッセージを利用した通知サービスであり、「らくらくナンバー」、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバーAPI」と3つのサービスがあります。当四半期累計期間においても、コロナ禍における対面営業の制約はありましたが、導入企業と同業種への事例紹介や、既存のお客様からのご紹介により、新規獲得件数は好調に伸長したこと等から、売上高は前年同期比4.0%増収の60百万円となりました。営業利益も、売上高の増益と費用削減による売上原価、営業費用の減少により、32.9%増益の23百万円となりました。

#### ② リモートメール事業

当四半期累計期間において、「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長市場であるスマートフォン市場での拡販に継続して努めておりますが、サービス解約による利用者数の減少の影響もあり、売上高は前年同期比10.9%減収の44百万円となりました。また、営業利益は、売上原価、販売管理費の減少により増益から、前年同期比4.8%増の22百万円となりました。

#### ③ ボイスメール事業

ボイスメール事業は、2019年12月に譲受けた事業であり、スマートフォンアプリを利用して音声情報をメールのようにやり取りできる法人向けのサービスであります。売上高、営業利益ともに、前年同期比ほぼ横ばいとなりました。

④ 受託開発ソフトウェア事業

受託開発ソフトウェア事業は、システム開発、保守業務によるものであります。

受託開発ソフトウェア事業の売上高は前年同期比132.9%増の3百万円、営業損失は、売上原価の増加により、1百万円となりました。

⑤ その他

その他の売上は、主に、インターネット接続の提供及びウェブサイト構築に用いるサーバのレンタルサービスであります。

売上高は7百万円(前年同期比53.0%減)、セグメント損失0百万円(前年同期セグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における総資産は918百万円となり、前連結会計年度末に比べ、31百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少3百万円、売掛金の減少24百万円、のれんの減少6百万円等であります。

負債の部は364百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しております。主な要因は、長期借入金の減少23百万円、短期借入金の減少7百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1百万円等であります。

純資産は554百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表しました業績見通しに変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	614,274	610,846
売掛金	121,113	96,296
短期貸付金	126	126
その他	17,611	28,766
貸倒引当金	△3,098	△3,020
流動資産合計	750,027	733,014
固定資産		
有形固定資産	6,003	6,893
無形固定資産		
のれん	137,681	131,274
商標権	1,165	1,227
ソフトウェア	6,086	5,340
無形固定資産合計	144,933	137,841
投資その他の資産		
投資有価証券	21,100	22,004
長期未収入金	776,946	776,616
繰延税金資産	275	183
その他	27,362	18,783
貸倒引当金	△776,946	△776,616
投資その他の資産合計	48,737	40,971
固定資産合計	199,674	185,706
繰延資産		
株式交付費	387	250
繰延資産合計	387	250
資産合計	950,089	918,972

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,552	14,678
短期借入金	59,158	51,652
1年内返済予定の長期借入金	99,336	97,628
未払法人税等	580	145
賞与引当金	1,518	-
未払金	14,409	14,066
その他	16,202	31,886
流動負債合計	219,757	210,056
固定負債		
長期借入金	156,712	133,586
退職給付に係る負債	20,416	20,786
固定負債合計	177,128	154,372
負債合計	396,886	364,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	607,299	607,299
利益剰余金	20,615	21,976
自己株式	△174,711	△174,733
株主資本合計	553,203	554,542
純資産合計	553,203	554,542
負債純資産合計	950,089	918,972

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	147,201	136,751
売上原価	49,780	50,442
売上総利益	97,420	86,309
販売費及び一般管理費	95,244	84,535
営業利益	2,175	1,774
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	11
持分法による投資利益	-	904
貸倒引当金戻入額	330	330
営業外収益合計	341	1,245
営業外費用		
支払利息	723	1,068
株式交付費償却	136	136
その他	136	216
営業外費用合計	997	1,421
経常利益	1,520	1,597
税金等調整前四半期純利益	1,520	1,597
法人税、住民税及び事業税	145	145
法人税等調整額	99	91
法人税等合計	244	236
四半期純利益	1,276	1,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,276	1,361

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	1,276	1,361
四半期包括利益	1,276	1,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,276	1,361
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。